

# 東京特別区 I 類択一記述公開模試 教養試験

## 問題の訂正のお知らせ

この度、東京特別区 I 類択一記述公開模試 (KA/KB22886) の教養試験の問題冊子 (KU21757) において、不備がありましたので、訂正をさせていただきます。

不備がありましたのは、問題冊子 11 頁の [No. 1 1] の選択肢です。

- |  |
|--|
| <p><b>【誤】</b> 1 Aの総合得点が10点の場合、Cの総合得点が7点である。<br/>2 Aの総合得点が10点の場合、Dの総合得点が7点である。<br/>3 Aの総合得点が11点の場合、Cの総合得点が10点である。<br/>4 Aの総合得点が11点の場合、Cの総合得点が7点である。<br/>5 Aの総合得点が11点の場合、Dの総合得点が7点である。</p> <p><b>【正】</b> 1 Aの総合得点が10点の場合、Cの総合得点が7点の場合がある。<br/>2 Aの総合得点が10点の場合、Dの総合得点が7点の場合がある。<br/>3 Aの総合得点が11点の場合、Cの総合得点が10点の場合がある。<br/>4 Aの総合得点が11点の場合、Cの総合得点が7点の場合がある。<br/>5 Aの総合得点が11点の場合、Dの総合得点が7点の場合がある。</p> |
|--|

本問はあり得る場合を問う問題として作成されておりました。肢1～3、5はあり得ないため、消去法で肢4となりますが、Aの総合得点が11点の場合、Cの総合得点は7点、8点、9点の場合があり、確実にいえるとはいえないことから、成績処理は全員を正解とさせていただきます。

この度の不備につきまして、受験生の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを心からお詫びいたします。弊社といたしましては、原因を徹底的に究明し、このような事態が発生することのないよう、細心の注意を払い、取組んでいく所存であります。

以上

2022年3月

東京リーガルマインド 公務員事業本部

お問合せ：ナビダイヤル

0570-064-464(平日 9:30~20:00/土・祝 10:00~19:00/日 10:00~18:00)